令和４年度事業報告及び附属明細書

（自　令和４年４月１日　　至　　令和５年３月 31 日）

Ⅰ 会員の状況　　令和５年３月 31 日現在

会員区分	現在員	令和４年度　入退会状況		
		入会者	退会者	増減
名誉会員	３７名	２名	５名	△３名
普通会員	１，１８９名	４８名	１０６名	△５８名
一般会員	１５９名	５名	１０名	△５名
全国賛助会員（個人）	３６名	２３名	３名	２０名
地域賛助会員（個人）	４６名	４６名	０名	４６名
合計	１，４６７名	１２４名	１２４名	０名
団体会員	９団体	０団体	１団体	△１団体
全国賛助会員（団体）	１団体	１団体	０団体	１団体
地域賛助会員（団体）	０団体	０団体	０団体	０団体
合計	１０団体	１団体	１団体	０団体

※地域賛助会員：令和４年６月１日から施行

Ⅱ　事業概要

１　公益目的事業

(1)　灯台参観業務

①　全国 16 の参観灯台において、地元関係団体と協力して一般の方々への航路標識事業の周知啓蒙に努めた。

令和４年度の参観者数は、672,175 人で、新型コロナウイルス感染症の影響により長期間の参観休止を余儀なくされた前年度と比較して 251,886 人増加（約 60%増）し、新型コロナウイルス感染症の影響が少なかった令和元年度（674,721 人）とほぼ同数まで回復した。

なお、この間、新型コロナウイルス感染症の拡大により業務を休止する参観灯台は、無かった。

②　海上保安庁による灯台改修工事のため、次のとおり参観業務を休止した。

・都井岬灯台：令和４年４月１日～同 16 日、令和５年２月 27 日～３月 31 日
・塩屋埼灯台：令和４年６月 28 日～30 日
・観音埼灯台：令和４年７月４日
・平安名埼灯台：令和４年９月７日
・犬吠埼灯台：令和４年 10 月 16 日～18 日、令和５年１月 31 日、２月 24 日～28 日
・出雲日御碕灯台：令和４年 11 月１日及び２日、12 月 14 日～令和５年２月９日

③　季節参観である尻屋埼及び入道埼灯台のうち、尻屋埼灯台は、昨年度からの継続実施していた職員詰所の移設工事を令和４年５月 31 日に完了し、６月３日から１年半年ぶりに参観

を再開して11月６日まで、入道埼灯台は、４月１日から11月６日まで、それぞれ参観業務を実施した。

④　参観灯台をＰＲするため、各灯台の魅力を伝える灯台リーフレットの作製・配布、ホームページ、インスタグラムなどＳＮＳを活用した各種情報の発信、各灯台入口に設置したイーゼル板により「のぼれる灯台の魅力」をアピールした。

特に、今年度は、新たに国の重要文化財に指定された尻屋埼及び出雲日御碕灯台については、灯台リーフレットの見直し、御前埼及び都井岬灯台については、駐車場の案内板を更新、参観者数の回復が鈍い初島及び大王埼灯台については、参観灯台ポスターの作成、御前埼及び潮岬灯台については、昨年に続き「灯台夕暮れ参観」を行うなど、灯台の魅力発信に努めた。

⑤　灯台スタンプラリーは、昨年度の９名を大きく上回り、新たに102名の方が全灯台の参観を達成された。

(2)　展示室業務

①　11箇所の参観灯台に当会が設置している資料展示室を灯台参観に合わせ公開した。

②　施設・設備の修繕等は緊急を要するもののみ実施した。

特に、今年は、塩屋埼及び初島灯台資料展示室における水銀槽式回転灯器の水銀解消とともに、展示資料の老朽が著しかった入道埼灯台資料展示室の展示リニュアル整備工事を完了した。

③　志摩市、下関市から委託を受け、両市が設置している安乗埼、角島の各資料展示室の管理を行った。

(3)　その他の周知広報業務

①　154周年灯台記念日祝賀会は、新型コロナウイルス感染防止のため、中止した。これに伴い、航路標識事業の発展並びに航路標識事業に貢献した者の表彰も取り止めた。

②　「灯台絵画コンテスト2022」として、全国の小・中学生を対象として、「灯台のある風景」をテーマとした募集を行い、828点の応募があり、９月15日及び16日の審査委員会※１により選定した各部門（小低、小高、中）９点の入賞作品計27点の中から、国土交通大臣賞、海上保安庁長官賞及び燈光会会長賞各１点並びに各部門金賞１点、銀賞２点及び銅賞５点が決定された。

表彰については、被表彰者の地元において、海上保安部長等から伝達していただいた。

※１：委員会委員：上野委員長、高橋副委員長、福田委員、三野委員、不動委員

③　日本財団が主催する「海と灯台プロジェクト」の事業の一環として全国各地で制作されたテレビ番組等への取材、撮影協力を行った。

④　地域振興を図る市町村、航路標識協力団体、その他灯台愛好市民団体などと連携してイベント等を実施するとともに、航路標識に関する調査・研究、周知・広報、観光振興等の活動に積極的に支援・協力を行い、航路標識事業の周知啓蒙、発展に努めた。

＜後援・連携＞

・　灯台ワールドサミットin御前崎（御前崎市）

・　あのり拍子（志摩市灯台活用推進協議会（航路標識協力団体））

・ とよまの灯台文化祭（とよまの灯台倶楽部）
・ 犬吠埼灯台夜間公開（ラストサマー実行委員会（銚子市旅館ホテル組合））

＜地方自治体等＞

・ 大王埼灯台の日毎参観者数データの提供協力（志摩市）
・ 灯台活用推進協議会への参画（志摩市）
・ 灯台ワールドサミット in 御前崎への参画（御前崎市）
・ プレミアムパスポート事業及び縁結び台設置への協力（男鹿市）
・ 横須賀市内の周遊観光動向調査への協力（横須賀市）
・ 駿河 Blue Line キーワードラリーへの参加(御前崎市)
・ 出雲日御碕灯台ライトアップ事業への協力（出雲市）
・ 神威岬灯台の旧第１等レンズの里帰り事業への協力（積丹町）
・ 下北コンベンション誘致推進協議会への協力（むつ商工会議所）
・ 外国観光客誘致事業への協力（千葉県、三重県）
・ 神奈川県観光情報番組制作への協力（神奈川県）
・ 舞鶴市赤レンガ博物館への資料寄贈（舞鶴市）

＜報道関係＞

・ 「レギュラーが歩く　全国あるある探検隊」番組制作への協力（BS よしもと）
・ 「ヒルナンデス」番組制作への協力（日本テレビ）
・ 「しゃべくり 007」番組制作への協力（日本テレビ）
・ 「東海の肖像」番組制作への協力（キャッチネットワーク）
・ 灯台観光ブームに関する取材協力（共同通信社、読売新聞社）
・ 灯台の魅力に関する番組制作への協力（KBS 京都）

＜個人、団体からの問合せ等への対応＞

・ 国際ガラス年 2022 における日本工芸ガラス学会による灯台レンズの調査に協力し、資料提供を行ったほか、地域と灯台の歴史を調査している郷土史家、灯台研究生をはじめとする灯台に興味を持つ個人などからの資料提供、問合せ、質問等に対応した。
・ 参観灯台のある市町村の観光協会や、一般財団法人船員保険会、公益財団法人日本海事広報協などの団体による会報誌作製などに係る灯台写真、情報の提供等に対応した。
・ 公益財団法人渋沢栄一記念財団からの灯台の歴史に関する原稿依頼に対応した。

＜情報誌等＞

・ 旅行に関する情報誌やＷＥＢ運営者である「じゃらん」、「るるぶ」、「まっぷる」、「JTB パブリッシング」、「ナビタイム」などによる参観灯台の紹介に係る灯台写真、参観情報等への資料提供、記載情報校正・確認などのへの協力に 100 件ほど対応した。

⑤ 「美ら海フォトコンテンスト」等、海上保安庁（管区本部、保安部等）が各地域で行う航路標識関係の催し 17 件に対し、後援者として支援協力を行った。

⑥ 会誌「燈光」を隔月発行、関係先に配付し、航路標識事業の周知広報に努めた。

⑦　歴史的航路標識資料の適正な整理・保存のためデータベース化を進め、燈光会ホームページ上で「航路標識資料データベース」として公開し、情報の拡充を図った。

⑧　国の有形文化財（建造物：重要文化財、登録有形文化財）として登録されている灯台を題材とした灯台カレンダーを作製、配布することにより航路標識の周知広報に努めた。

⑨　全国の主要灯台に設置した航路標識周知板の表示の更新を行うとともに、効果の低下した周知板の撤去を実施した。

２　互助事業

(1)　会誌「燈光」を隔月発行、会員に配付した。

(2)　2023 年版「灯台カレンダー」を作成し、会員に配布した。

(3)　海上保安学校本科情報システム課程、管制課程への教材等の助成を行った。

(4)　無線従事者資格等航路標識業務に有用な資格取得者延べ 55 名に対し、奨励金を支給した。(内訳別紙)

(5)　会員の子弟 3 名に、奨学金を貸与した。（内訳別紙）

(6)　会員の遺族 22 名に対し、弔慰金を支給した。

(7)　会員の慶事に対し、祝電 7 通を送付した。

(8)　米寿を迎えた会員 9 名に記念品を贈呈した。

３　その他

新型コロナウイルス感染症に係る助成金

新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少した者に対して支給される助成金、給付金を申請し、次のとおり受領した。

・事業復活支援金　600,000 円（５月　６日、事業収益減少分として受領）

・雇用調整助成金　168,910 円（８月 24 日、濃厚接触職員等休業分として受領）

Ⅲ　庶務事項

１　定時総会（令和４年６月 28 日）

令和３年度事業報告及び収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事の選任について審議し、原案のとおり承認可決された。

２　理事会

・第一回（令和４年５月 17 日）

令和３年度事業報告及び収支決算報告、理事辞任に伴う後任理事の選任、令和４年度定時総会、賛助会員規則の改正について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について報告があった。

・第二回（令和４年６月 28 日）

役付理事の選定、役員の退職慰労金支給について審議し、原案のとおり承認可決された。

・第三回（令和４年 10 月 25 日）（書面表決）

名誉会員の推薦について、書面表決により原案とおり承認可決された。

・第四回（令和５年３月 10 日）

令和５年度事業計画、令和５年度収支予算、名誉会員の推薦について審議し、原案のとおり承認可決された。

また、代表理事及び業務執行理事から職務執行状況について、報告があった。

Ⅳ　登記事項等

令和４年６月 28 日	内閣府あて「令和３年度事業報告等」提出 審査完了
令和４年７月　６日	法務局あて「変更登記（理事の変更）」申請 7 月 6 日登記
令和４年８月 12 日	内閣府あて「変更の届出（理事の変更）」提出 審査完了
令和５年３月 17 日	内閣府あて「令和５年度事業計画書等」提出 審査完了

Ⅴ　事業報告の附属明細書

令和４年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和４年度有技者資格等取得者内訳　　別紙

資格等の種類	取得者数（名）
第一級海上無線通信士	1
第三級海上無線通信士	1
第一級陸上無線技術士	9
第二級陸上無線技術士	33
第二級施工管理技士（電気）	1
実用英語技能検定２級	2
TOEIC	8
計	55

令和4年度奨学金貸与内訳

1　奨学金の貸与者数及び貸与額

令和5年3月31日現在

定員（名）		貸与者数（名）	年間貸与金額/名（円）	貸与額（円）
高等学校	20	0	300,000	0
専修学校		0		0
大学		3		900,000
合計	20	3		900,000

2　返還者数及び返還金額

返還対象延べ数（名）	返還金額（円）
41	8,238,000